

# 抗凝固薬の大腸内視鏡治療後出血に及ぼす影響

へのご協力のお願い

## (研究目的)

過去を含めた臨床データを用いた後ろ向きの観察研究により、当院および他2施設を合わせたデータを用いて新たに内視鏡治療時における抗凝固薬の取り扱いを定めたガイドライン後の大腸内視鏡治療後出血を検討することで、その病態の特質や大腸ポリペクトミー後出血に対する抗凝固薬の影響を調べます

## (研究対象)

松江赤十字病院において、2017年8月～2019年7月の間に大腸内視鏡治療を受けられた方

## (研究期間)

2020年 2月 11日 ～ 2020年 12月 31日

## (研究方法)

当院で大腸内視鏡治療を行った症例について、臨床背景、治療成績、偶発症、予後などを後ろ向きに調査します。なお、個人情報とは十分保護されます。

## (その他)

調査情報は松江赤十字病院にて厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で3施設のデータを集積、解析し、関連の学会等にて発表する予定です。

## (問い合わせ先)

松江赤十字病院

<診療科> 消化器内科

<役職等> 副部長                      <氏名> 結城 崇史

電話番号              0852-24-2111 (代表)

対応時間              平日 8:20～16:50